

2016 年度活動報告書

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト

I 事業概観

概要	成果と課題
<p>2016 年度は取り組むべき事業を絞り込み、成果を意識して活動した。</p> <p>本年はフェアトレード事業の収益向上を主眼に据えて取り組んできた。また AWEP の強みである生産者、小売店との顔の見える関係性を生かし、丁寧なコミュニケーションを心がけた。</p> <p>会員、寄付者、ボランティア、その他の支援者の方々との関わりも丁寧な関係性を築けるよう意識した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード事業では絞り込みできたものの、収益向上は目標に達することができなかった。 ・動きのない在庫を減らすことができた。 ・事業運営体制が年度初めに想定したより弱く、対応に遅れなどが見られた。 ・3月に予定していたネパールのシャクティハスタカラとの協議が実施できなかったが 2017 年度中に、事前の調整準備をし、計画を練り直したい。 ・メールによるコミュニケーションの充実を図ることができてきたが、より情報公開やコミュニケーションの充実を図りたい。

II 事業の実施に関する事項

1 海外事業

(1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

実施内容	成果と課題
<p>2016 年度の仕入れは次の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外仕入費 <ul style="list-style-type: none"> フィリピン 157,566 円 タイ 81,124 円 インドネシア 120,460 円 ネパール 64,700 円 合計 423,850 円 ・国内仕入費 144,128 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパール支援キャンペーン T シャツの売り切りを目指したが、移染が発生し思ったより売れなかった。価格を下げる、あるいはほかの手段で処理するなど対応が必要。 ・動かない在庫の削減や製品の絞り込みを進めてられている。絞り込みによって、ブランディングと利益率の向上が期待。 ・ウェブサイトでの販売が思ったより反応が少ない。SoooooS と BASE の販売の戦略見直しが必要。

① フェアトレード生産者のエンパワメント

生産者	実施内容・生産者状況	成果と課題
Lampara house (フィリピン)	スリッパ等の定番製品に加え、コンビバッグ・ペンケースなど、新製品も注文。製品開発に努めた。	・製品材料の調達難しい。特にティナラックは生産地に発注後手織り、気候にも影響を受けるので新製品を決めてすぐ制作に取り掛かれない。フ

		イリピン特有の材料の確保が難しい。
APIKRI (インドネシア)	・根強い人気の楽器の発注。新デザインのものも発注した。	・新しいデザインのはサンプルを見てから発注出来ないのが難点。
KPTB (インドネシア)	・製品コントロール、受注マネジメントが改善されなかったため、本年度、新規発注を見合わせた。	・改善策の提示を待ったが具体的な策が出されなかった。バティックの発注は APIKRI を通じて行う。
BTF (タイ)	・モン族バッグ発注。 ・定番製品の補充注文。(2016年1月に BTF より価格改訂の申し出があり順次価格変更) ・2月に訪タイ。生産者との交流、BTF メンバーとの製品会議。 BTF に新しい日本人サポーター。	・BTF はスタッフ 2 名になって農繁期の影響も受けるので納期が間に合わないことがある。→発注の時期を決めずに決まったものから連絡して暇な時に作ってもらうことに。
KABW (ネパール)	・取引休止中	
Shakti Samuha (ネパール)	・さをり織ショール、ミニマフラー、眼鏡置きを発注した。 ・ Shakti Handi Craft Pvt.Ltd.	・現地への渡航を予定していたが諸事情で延期した。

②国内販売活動によるフェアトレードの促進

項目	実施内容	成果と課題
製品企画開発	製品会議を毎月開催し、製品開発につなげられた。新しいデザインの製品の実現化が出来た。	・素材不足などによる入荷遅れが発生し、適時に販売できないことがあった。
製品管理 品質管理	・タグ付方法を統一できた。	・管理システムの使い方をもっと学習し棚卸などを簡略化したい。
販売促進	・卸販売した店舗数は 25 件であった。 ・店舗メールを 8 回発信した。 ・費用対効果を見てイベント出店を絞り、本年度は 23 回出店した。 ・ネット通販 BASE と SoooooS. で継続販売。 ・ふるさと納税の特典として製品を提供 (タイのポーチとネパールのストラップ) 6 月、8 月、12 月各 1 件 ・アジアの布展を 2 か所 (芦屋: 11/7	・取引実働店舗数が減っている。イベントの機会も少なくなっている。この状況の中でどうやって販売機会や収益を上げるか。 ・BASE は掲載製品を増やしたものの、販売実績が上がらなかった。リンクを貼るなどの工夫が必要。 ・社会貢献型のショッピングモール SoooooS. を動かせていなかったため再活用を検討したい。 ・アジアの手織りや手染めの珍しい布を集める展示会を登録店舗等に売り込むパッケージにて

	～21、六甲：11/27～12/3）で開催した。	きた。2017年度も継続する。
--	--------------------------	-----------------

(2) 女性のエンパワメントに資する活動

項目	実施内容	成果と課題
スタディツアー	実施せず	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の問題から企画できなかった。 ・フィリピンツアーの案を 2017 年度に検討する。

2 国内事業

(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

項目	実施内容	成果と課題
① 生活相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に電話相談、及び来所による相談対応（14件） ・NGO神戸外国人救援ネットをはじめとした関連団体への紹介・面談同行といった対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談シートを改訂してデータとして管理し相談対応に生かすための整備ができた。
② 情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん通信の発信（No. 219 から No. 242 まで全 24 回） ・『外国人女性のための役だつインフォメーション：用語集（日本語/英語/タガログ語）』作成（200部） ・「やさしい日本語」の内部研修実施（3月8日）講師：水野マリ子氏（神戸YWCA） 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん通信発信後は、データをウェブサイトに掲載しアーカイブ化。後にも利活用できるようにした。情報拡散としてフェイスブックにも転載した。 ・非日本語話者には難しい専門用語を抽出し3言語で解説した用語集。支援者向けにも活用できるようにした。 ・あんしん通信のよりよい発信のために講座を実施。「やさしい日本語」のポイントを学ぶことができた。

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

項目	実施内容	成果と課題
① 他団体との関係強化	<ol style="list-style-type: none"> 1. NGO神戸外国人救援ネット <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員に鋤柄理事 ・運営会議出席（毎月第2月曜日）。 2. ひょうごDV被害者支援連絡会（HYVIS） 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度も継続して救援ネットとHYVISの定例会、関係会議等に参加。情報共有と交流を図り、連携を深めることができた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・HYVIS 代表に鋤柄理事（2016 年度末まで） ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（4 月、6 月、8 月、10 月、11 月、1 月の 6 回）。神戸市、兵庫県、明石市の DV 被害者支援担当者との懇談。 ・HYVIS 主催の平成 28 年度神戸市 DV 被害者支援者養成研修事業 公開講座『ストレスマネジメントとボディワーク』の実施（2017 年 3 月 11 日 於：あすてっぷこうべ 参加者：第 1 部・第 2 部のべ 40 名） 3. 「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」 全国フォーラムにもりき理事が参加（6 月 4、5 日 於：徳島市）。 	
②勉強会、セミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「手で楽しむネパール料理 ダルバート」（11 月 19 日）（参加者：17 名） 	参加者から「ネパールに興味を持てた。行きたくなった。」とのコメントや、子ども連れで参加できることへの評価があった。親子でアジアの国の深い事情を知る良い機会となった。
③通訳翻訳依頼のコーディネート	実施なし	
④講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣 2 件 ・聖被昇天学院高等学校（6 月 28 日） ・洲本実業高校（6 月 29 日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校からの依頼や打診が少しずつ増えている。フェアトレードや途上国支援に若い世代の理解を深めたり、AWEP を知ってもらう機会になっている。また講師派遣の収益につなげていきたい。
⑤連携事業	実施なし	

3 組織運営・その他

項目	実施内容	成果と課題
ニュースレター	No.44（6 月）、No.45（12 月）の発行（各 500 部）	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面で配布するとともに、ウェブサイトにも掲載し、広く活動を紹介することができた。また国外在住の会員も読めるようになった。
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動のべ 96 人/日 ・ボランティアメール 4 回発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのボランティアの方が販売や事務作業に携わっていただいた。 ・下半期は会員通信をボランティアの方にも送

		<p>信するようにし統合した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報を中心に広報。イベントに新しいボランティアの方が参加。イベント情報だけでなく他の魅力あるトピックを探して回数を増やしたい。
広報ツール	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット追加発注（2000部） ・ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム（新規） 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外からの来所者やイベント時に英語版のリーフレットを配布しPRすることができている。またHPの英語版の更新も適宜行いたい。 ・インスタグラムの活用方法を研究する余地ある。
ファンファンパーティ（資金開拓）	未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・体制が整わず実施できなかった。
AWEP説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・4回開催（7/13,9/24,11/5,2/4）（参加者6人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者と日程調整しその都度開催した。 ・ボランティア登録につながっている。

4. 助成金の実績

助成金名	事業名	助成額	内容
公益信託 神戸まちづくり六甲 アイランド基金	在日外国人女性に向けた情報発信・相談活動とその促進事業	500,000円	相談事業、あんしん通信事業、『外国人女性のための役だつインフォメーション』用語集作成
公益財団法人 神戸国際協力交流センター	『手で楽しむネパール料理 ダルバート』（11月19日）	31,589円	講師：サキヤ氏 参加者：17名 親子対象にしたアジアに親しむイベント。ダルバートの料理教室とネパールの文化などを紹介。

Ⅲ 事業の実施体制

項目	内容
会議	<ul style="list-style-type: none"> ①理事会 5月21日、9月17日、12月17日 ②事務局会議 原則毎月第1水曜日に開催
事務局の体制	<スタッフ>

	<p>①全体統括・会員・広報関連：奈良雅美 代表理事</p> <p>②事務局長（総務・財務）：鋤柄利佳 理事</p> <p>③海外事業統括：大森恵実 理事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン担当：もりきかずみ 理事 ・タイ担当：村上菜摘 理事 ・ネパール担当：大森恵実 理事 <p>④国内事業統括：鋤柄利佳 理事</p> <p><定期事務局ボランティア>（五十音順）</p> <p>井之上章子、いなだ多恵子、岡内克江、笠原幸子、鹿嶋節子、チェイス洋子 もりきかずみ、吉田和代、矢野淳子</p>
会 員	運営会員 32 名 賛助会員 60 名 *2017 年 3 月末現在（下記に一覧）
他団体との連携	<p><地域></p> <p>特活）たかとりコミュニティセンター（神戸市長田区）：同センター所属のメンバーとして連携し地域の活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例連絡会（毎月第 1、3 土開催） ・理事会への理事派遣（年 4 回開催） <p><女性支援・外国人支援></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神戸外国人救援ネットの運営委員としての活動（鋤柄） <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議出席（毎月第 2 月曜日）。 2. ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）の構成団体としての活動（鋤柄） <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（偶数月第 4 水曜日）。 3. 「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」の全国ワークショップに参加（もりき） （2016 年 6 月 4、5 日 於：徳島市）。 <p><国際協力></p> <p>特活）関西 NGO 協議会（大阪市）：準会員として参加</p>

運営会員 （32 名、内 1 名匿名）五十音順 敬称略
青山由香 縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 太田和宏 大森恵実 岡内克江 岡埜ゆかり 笠久恵 鹿嶋節子 神田慧太 木村淳子 木村寿子 小西三洋 定藤繁樹 白井廣美 鋤柄利佳 高木健作 武田 丈 チェイス洋子 仲尾育哉 中森俊久 奈良雅美 西脇鈴代 日比野純一 藤川真澄 村上菜摘 森木綾子 もりきかずみ 森田次美 吉田和代 吉野太郎
賛助会員 （60 名、内 5 名匿名）五十音順 敬称略

有吉真紀 石山智子 市川栄見子 井原由紀子 海野治子 占部 太 王貴美子 岡崎洋子
 岡田輝弥子 笠原幸子 岸本康子 喜本由美子 熊野純 河野静子 古舘美賀 堺方子 坂本勝
 坂本陽子 梶月太郎 佐渡いづみ 嶋内良則 清水晴美 下山晶子 杉戸ひろ子 鈴木迪子
 スペンサー絢子 高木澄子 太治和美 多田典子 谷口幸子 土井哲也 中川加代子 中嶋秀昭
 西海ゆう子 長谷川美代子 服部尚美 原田裕子 ビーンズ・アクト 飛田雄一 平等文博
 藤田ふみ子 不破久美子 松代東亜子 宮崎千鶴 三好宣子 村田裕子
 モニカ・ヘレン・マカラエグ・カヒログ 山口透 山本裕子 尹英順 若月由美子

役員 五十音順 敬称略

理事：青山由香 戎香里菜 太田和宏 大森恵実 川村栄美 定藤繁樹 白井廣美 鋤柄利佳
 奈良雅美 村上菜摘 もりきかずみ

監事：いなだ多恵子 仲尾育哉



写真の説明

右上 タイ・バーントーファン

左上 アジアの布展（神戸市）

左下 「手で楽しむネパール料理ダルバート」